

○ふじのくに少子化突破戦略応援事業における優良事例

<区分1> 保育所等における働きやすい職場環境の整備（藤枝市の取組）

事業名	保育士・幼稚園教諭の働きやすい職場づくり事業	
目的	藤枝市はUターン率が低く、特に若い女性の流出傾向が強いことから、若者の雇用の場の創出や保育所の待機児童問題への対応のため、「藤枝市保育士・幼稚園教諭人財バンク」を平成29年6月から開始して人財を確保するとともに、保育所等の働き方改革のための行動計画（(仮称)保育士等が働きやすい職場づくりのための手引書）を策定し、保育所等がこれから若者にとって真に働きやすい職場、働き続けられる職場となることを目指す。	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート、講演会の実施 職場についての状況を把握 ・行動計画「保育士等が働きやすい職場づくりのための手引書」の策定 働きやすい職場づくりのために何をすべきか、自分たちで話し合うことで、実行可能な内容の行動計画を策定 ・行動計画の検証 	 <p>策定した行動計画</p>
総事業費	13,561,760円（3年間） ・H29 4,806,000円 ・H30 6,784,560円 ・R1 1,971,200円	

<区分2> 長期休暇期間中の保育等支援（伊豆の国市の取組）

事業名	市立幼稚園夏休み預かり保育事業	
目的	伊豆の国市の子育て基盤力は県平均以上となっているものの、保育園は慢性的に満員に近く、希望する保育園に入園できないために保育園の入園を諦めて、幼稚園の保育時間に合わせた勤務時間で働いている保護者もいることから、市立幼稚園における夏休みを含めた長期休暇の間の預かり保育を実施することで、保育環境の整備を図り地域の働く力を高める。	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度に幼稚園1か所で夏休み期間の預かり保育を開始。以後、実施園数を増やすとともに冬休みや春休みにも期間を拡大。 	 <p>実施保育園の1例</p>
総事業費	8,492,548円（3年間） ・H29 3,977,370円 ・H30 3,834,687円 ・R1 680,491円	

<区分3> 既存資源を活用した子育て家庭への居場所等の提供（三島市の取組）

事業名	子育て支援フェア事業	
目的	三島市においては、夫婦の出生力要因のうち、「結婚要因」の指数が特に低い。結婚要因にプラスの影響がある「地域の働く力」と「地域のにぎわい力」については、県平均程度となっているため、これらを更に強化することで、結婚要因の指数を上昇させ、「子育てしやすいまち」「楽しく子育てできるまち」を実現する。	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年「子育て支援フェア」を産・官・民の協働で開催。 ・平成29年度は、三島市独自で「祖父母手帳」をフェアに合わせて発表。 ・平成30年度以降、「祖父母手帳」を活用した講座やイベント等を開催し、3世代交流の機会を創出。 	
総事業費	6,386,617円（3年間） <ul style="list-style-type: none"> ・H29 2,923,616円 ・H30 1,801,050円 ・H31 1,661,951円 	

フェアの様子

<区分3> 既存資源を活用した子育て家庭への居場所等の提供（下田市の取組）

事業名	地域巡回型居場所づくり事業	
目的	下田市では、人口比に対する公園面積が広いものの、駐車場などが少なく親子で遊べる場所が少ないため、子育て世代から遊び場創設に関する要望が多い。このことから、市内公共施設を活用し、子育て世代はもとより、高齢者も含めた多様な世代の交流・情報交換の場とし、親子で楽しく遊べ、地域とのつながりを強めることができる場所とすることで、孤独感を解消し、出生意欲の高揚を図る。	
事業概要	市内各所にある公共施設を活用した子育て世帯の居場所づくりを展開。 <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいイベントの実施 ・遊び場の提供 ・母子分離の機会提供 ・育児や発達等の相談 ・子育て情報の提供 等 	
総事業費	2,540,788円（3年間） <ul style="list-style-type: none"> ・H29 204,323円 ・H30 216,623円 ・H31 2,119,842円 	

イベントの様子

<区分4> 子育てボランティア等の育成支援（函南町の取組）

事業名	地域子育てコーディネート事業	
目的	知恵の和館子育て交流センターを拠点とし、子育てボランティアの育成、育成したボランティアによる親子への支援が地域へとスムーズに流れ、地域に根差した子育ての拠りどころを創設する。また、子育てコーディネーターが、子育て世代のニーズに合った支援策を後押しし、母親の孤立を防ぎ、育児に対する不安を解消し、次子の出生につなげる。	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てサロン事業 親子で気軽に立ち寄れる場として各地域のニーズにあったサロン事業を展開。 ・ボランティア養成講座 サロンで活躍するボランティアを養成し、修了者をボランティアとして登録、子育てサロン等で活動。 	
総事業費	9,063,964円（3年間） ・H29 1,840,904円 ・H30 3,611,885円 ・H31 3,611,175円	<p>子育て交流センター</p>

<区分5> 子育て家庭のためのお出かけ環境の整備（焼津市の取組）

事業名	子育て環境向上事業～赤ちゃんステーション設置等事業～	
目的	「羅針盤」において、「乳幼児サポート力」が県平均よりやや低いとされたことから、安心して赤ちゃんを外出することができるまちづくりを進めるとともに、子育てに関する情報を取得しやすい環境を整備することにより、子育て環境の向上を図る。	
事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 赤ちゃんステーションの設置 民間施設及び公共施設におむつ替え等ができる場所、赤ちゃんステーション（愛称：やいづあかちゃんえき）を設置 2. あかちゃんえきマップの作成 子どもを連れての外出がしやすくなるよう、「あかちゃんえき」の情報を印刷したマップを作成し、配布 	
総事業費	3,659,007円（3年間） ・H29 1,425,122円 ・H30 774,267円 ・R1 1,459,618円	<p>ステッカー表示</p>

<区分5> 子育て家庭のためのお出かけ環境の整備（伊東市の取組）

事業名	ベビーシート設置事業	
目的	伊東市では、市内公共施設等におけるおむつ替えのためのベビーシートの設置が進んでおらず、住民からの要望も高い。そこで、市内にベビーシートを整備し、乳幼児サポート力を高めることで、第1子要因にマイナスの影響を及ぼしている要因を最小限に抑える。	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設、市内商店街等に設置されているトイレ内へおむつ替えベビーシートを設置。 ・3年間で22か所に設置。 	 <p>ベビーシート設置トイレ</p>
総事業費	3,130,200円（3年間） <ul style="list-style-type: none"> ・H29 1,198,800円 ・H30 1,198,800円 ・H31 732,600円 	

<区分6> 子育て支援情報の提供ツールの整備（函南町の取組）

事業名	子育てサポート「かんnavi」事業	
目的	子育て期間中は、自身のみならず、子の健診や教室等の予定の管理も煩雑であることから、母親の負担を軽減し、家族で情報を共有できるようにすることで、「乳幼児サポート力」「夫婦の協働力」を強め、次子の増加につなげる。	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに係る様々な情報の配信に加え、子の成長の様子や記念日などを家族で共有できる専用アプリの導入 ・アプリの利用促進のため、母子手帳交付時や訪問等における周知 	 <p>子育てアプリ「かんnavi」</p>
総事業費	1,626,000円（3年間） <ul style="list-style-type: none"> ・H29 324,000円 ・H30 648,000円 ・R1 654,000円 	

<区分7> 男性の育児参画の促進（伊豆市の取組）

事業名	父親教室事業	
目的	<p>出産後の育児・家事の負担は大きなものであり、仕事との両立はそれ以上であることから、父親の子育てへの関わりが求められる。本事業にて、子育てについての重要性を父親に知ってもらい、積極的な育児・家事を促し、母親の負担を減らすことにより、出生率向上につなげる。</p>	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 父親の積極的な育児・家事を促すため、出産後の母親の負担の大きさや子育てにおける父親の役割の重要性などをテーマとした教室を開催。 子育て中の父親同士が一緒に料理（お弁当）を作り、その場で母親や子どもと一緒に食べる料理教室を定期的で開催。 参加者の要望に応じた、夫婦協働によるワークショップ・運動教室・工作教室等を開催。 	 <p>父親教室の様子</p>
総事業費	<p>986,952円（3年間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H29 130,192円 ・H30 536,760円 ・H31 320,000円 	

<区分8> 祖父母等の育児参画の促進（清水町の取組）

事業名	三世代同居支援事業	
目的	<p>第2子、第3子要因に影響を与える夫婦や地域の関係性が清水町の弱点であることから、家族・地域の絆力の向上を目的に「三世代同居支援事業」を実施する。本事業により、安心して出産や育児を行い、また、高齢者等も安心して暮らせる住環境の整備を支援することで、第2子、第3子の出生率の向上に寄与するとともに、夫婦の協働力や子育て基盤力への好影響も期待できる。</p>	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 三世代同居のために住宅を取得する者に対し、10万円の助成金を交付。 アンケートによる事業効果検証 パートナーシップ協定を締結している全日本不動産協会静岡県本部等と連携した制度周知 	 <p>制度周知（当時）</p>
総事業費	<p>3,033,280円（3年間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H29 333,280円 ・H30 1,400,000円 ・H31 1,300,000円 	